

全日本年金者組合  
**神奈川県本部**  
〒231-0032 横浜市中区不老町2-8不二ビル2F  
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062  
メール: nenkinanagawa@nifty.com

9月30日現勢 組合員 10,493人  
機関紙 6,433部  
100万署名 23,744部

# 年金者 しんぶん

## 「増やせなかった2年反省」 秋の月間で挽回 組合員増やし年金裁判にも勝つ

### 全勢力注ぎ1万1千人に挑戦 第27回県本部大会開く

この2年間、1ケタしか組合員を増やせなかったのはなぜかが大会のテーマ。9月29日横浜で開いた第27回県本部大会、167人の代議員と役員計218人が出席。来賓には中央本部の富田浩浩中央委員長ら過去最も多い14組織から駆けつけました。  
「年金裁判」や新事務所移転など大きな運動、事業をやってきた一方、退会者、死亡者が例年と変わらない比率なのに増えない。土志田委員長、鈴木書記長から、推進体制の弱体化、支部指導の放棄など深く反省が語られ、短期決戦の「秋の月間」では力を分散せず、集中して取組む方針が確認されました。

#### 短期決戦、力集中 秋の仲間づくり目標決まる

秋の目標の指標が決まりました。8月現勢1万5300人を基に、2000人未満は7%、2000人以上3000人未満が6%、3000人以上が5%。年内に1万1千人の県本部と

#### 県本部大会2年に1度改定

2年に1度の中央本部大会を見習い、県本部財政の改善などから県本部も2年に1度の大会とする規約が改正されました。ともなう県本部委員会も年2回と1回となります。



参加者をはげます土志田委員長

**土志田委員長、鈴木書記長再任 全49支部から役員選出**  
▲委員長・土志田公佳 ◆副委員長・大貫多喜子、伍淑子(新)、杉沢隆宣、杉山彰雄、塚原信介、村田泰子 ●書記長・鈴木久夫  
退任役員(苦労様でした) ○副委員長・渡辺義朗 ○執行委員・額額英治、平山実、佐々木宣勝、加藤宣利、小竹光洋、生井努、青木弘

#### 再び「日本一の神奈川県」に

11月から「秋の仲間を増やし月間」です。このところ、組合員の加入が激減し勢い、元気がなく、神奈川の停滞は全国にも影響し、県本部の推進体制、指導の弱さに深く反省しています。仲間増やしを活動の中軸に据え、再び「日本一の神奈川県」を取り戻す決意です。組合員が増えないと賑わいもありません。世間を味方につけ、年金裁判に勝たなければなりません。

横浜港北、戸塚西支部では5000人支部実現を目標にかかげ飛躍しようとしています。組合員のみならず、お知り合いを組合に入れてくれませんか。紹介でも結構です。お願いします。



加藤郁子 代議員

#### 恐怖に勝ちたい 仲間を増やして

年金が引き下げられていく恐怖に勝つには、組合員を増やすことが唯一の手段。大変でも難しくてもやり抜くこと。私は確信しています。



矢野和男 代議員

#### 原告24人最多が自慢

裁判原告の1割24人が藤沢これだけは自慢です。仲間増やしには特効薬はない。基本に立ち返ってやっていく。(藤沢支部)



小西勝男 代議員

#### 署名は、段取りと執念

集約担当者や推進委員会目標の3800署名は可能です。ブロックごとに目標もち、集約担当者を決め、推進委員会を開き、最後に組合員訪問。(港北支部)



勝又荘蔵 代議員

#### 両側手すり実現

手すりの両側設置など実現。高齢者の組織率4%が高いが、仲間増やしは足踏み状態危機的と認識している。(愛川支部)



菅谷マサエ 代議員

新聞を担当している。楽しく読んでもらえる。

### 好 奇心

動けば雷電の如く発すれば風雨の如しと称えられた幕末の風雲児高杉晋作の志半ばの辞世の句で「おもしろきこともなき世をおもしろく」は、「私達はこの国の民主主義の在り方についてこの国の未来について主体的にひとり一人個人として考え立ち上がっている」「現在危機に瀕している日本国憲法を守るために、私たちは立憲主義・生活保障・安全保障の3

#### 国民連合政府の 実現に向けて

闘いへと発展するでしょう。憲法を無視することは国民を無視することであり、日本の政治に立憲主義・民主主義・平和主義を取り戻すまでこの戦いは止まらなければ、その先が見えてくる。(港北支部)



梅村忠三 代議員

#### 仲間づくりを中軸に

仲間づくりをすべての活動の中軸に据えて、次期大会までに4200人から5000人に、1%突破



中村和子 代議員

#### 中央機関紙に 本部の動きを

中央機関紙の2面に中央本部の動きを載せてほしい。加入を勧める時に必要です。年金などもっと知りたい。(相模原西支部)



伍淑子 代議員

#### 署名の相乗効果

鎌倉と大船駅でやる年金・戦争法の署名が相乗効果を上げ集まっている。(鎌倉支部)

### 豊かな活動

#### 支部代議員の発言

#### 新聞担当者の交流会を

活動を伝える。仲間が沢山登場する。担当者の苦労を話し合える交流会を開いてほしい。(磯子支部)

年金相談室 ☎ 045-663-4061

毎月第2火曜日 午後1時から4時 横浜市中区不老町2-8 不二ビル2F

◆あらかじめ電話をいただければ幸いです。年金者組合企画

# みんな知られちゃう 収入、病歴、預金…なんでも

## いい事なしのマイナンバーは中止を

### 大事に保管

### 番号通知書

### ICカード申請しないで

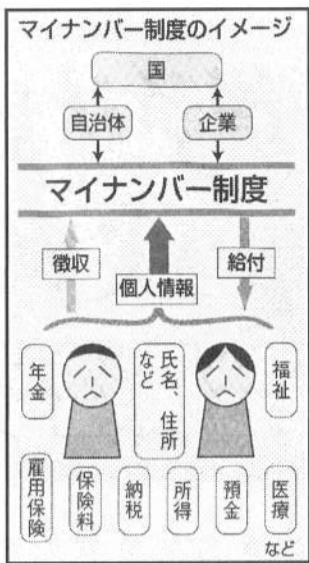
10月5日以降、住民票を持つ人、赤ん坊からお年寄りまで全員に12桁の番号通知が届いています。マイナンバーって一体どういうものなのか、簡易書留が届いたが、どうすればいいのかという相談が多く寄せられています。便利ばかり主張しては、政府のマイナンバーの導入は、税の徴収

強化や社会保障などの公共サービス抑制を行うのが本当の狙いです。

情報漏れ・不正の危険

Q、便利だけ？

A、いったん番号漏えいなどの事件があると、危険性は今以上に甚大となります。アメリカの社会保障番号による事件は、2014年には12



「しんぶん赤旗」から

00万人以上の被害があったと報道されており、イギリスでも問題が多いため廃止にむけて検討中だ。現在は停止中だといわれています。

ドイツ・フランス等G7・7カ国で、日本のように全員強制・生涯不変・官民制度を導入している国はありません。先ざき運転歴、病歴、

銀行の貯金、クレジットカード、東京オリンピック会場やカジノの入館証などにも使われることになり、紙製の通知カードをしっかりと保管しておきましょう。

制度の中止・撤回の運動を！  
Q、私はどうすればいい？  
① 紙製の通知カードをしっかりと保管しておきましょう。  
② 番号通知と一緒に届いた「個人番号ICカード」を申請しないようにしましょう。  
(住民票、印鑑証明などの諸手続は、従来どおり)

## タウンニュースで見た「さわやか」続々問合せ

秦野

10月30日の「さわやか女性をつどい」に向けて、地元「秦野女性の会」が役員をはじめ男性組合員の協力もあり、様々な工夫をする中で、地域の全戸に配布されるタウンニュースで参加を呼び掛けたところ、多く

今後、市の広報、駅頭での参加呼びかけも行われる予定です。  
「秦野女性の会」の頑張りが他支部にもはげましくなっています。

### 長谷川径弘の神奈川の地酒今昔 第13回

前回は北の2酒造元の南側、愛川町にも2酒造元がありました。ハイクのメッカだった中津溪谷（今はダム）下流の中州状の残草（地名）に「東乃誉」（あずまのほまれ）大矢酒造は創業安政5年。

### 愛川にも「東の誉」と「蓬菜」2酒造

東北や九州から来た人たちは、造り酒屋がと喜び、盆暮れには、うちの酒を里へ宅急便して帰郷します」と。

もう1軒は「残草・蓬菜」（ほら）うらやま大矢酒造/創業文政13年。裏手の小山（40メートル）が中国伝説

## 神奈川年金者文芸

- (俳句)
- 朝顔を植え芽が出る迄心待ち 金沢支部 金子 圭之
  - 満月の光をいだし眠りけり 返葉支部 根岸こうこ
  - 球児等の砂にまみれし残暑かな 港南支部 塚原 進
  - 子ら寄りて八十路を肴詠い酒 愛川支部 中村 善人
  - 庭草の花摘み夫に供へけり 返葉支部 熊谷 直子
  - 物の怪の霧にひそむや安保法 平塚支部 坪井 稔恭
  - 長き夜ふたり昔を物語り 平塚支部 木下 祐治
  - 刈取りの稲の匂や峡一里 秦野支部 松村 暁一
  - 口に入る物みな旨し豊の秋 秦野支部 内山 朋子
  - 新涼や舞台の能の足さばき 秦野支部 高城千恵子
  - (川柳)
  - 赤トンボ残暑を背負い汗まみれ 愛川支部 青井 功
  - 鯛や神奈神奈デモに共鳴し 横浜緑支部 吉田 一夫

### 年金カフェ♡始まったよ～

麻雀したり、おしゃべりしたり、絵描きしたり... 気ままに楽しく...

年金事務所まで涼みながら仲間と過ごしませんか！  
13:00～16:00 (毎回参加費200円)  
今月は、あと20日(木) 24日(月) 26日(水) 27日(木)朗読会 28日(金)

絵を描く人・奥では麻雀で、にぎやか (ねんきんとうか)

### 200号 記念特集

#### 支部ニュース 創刊200号に寄せて

200号の発行にあたって、支部ニュースの歴史を振り返るとともに、今後の発展を期すべく、読者の皆様からのご意見を募集いたします。

発行：2015年10月15日

### 手書きで始めた ニュース200号

1998年10月、支部結成と同時にニュース創刊。懐かしく創刊より1年間のニュースに目を通しました。新役員5人の紹介と併せて27人の組合員も列記しました。ニュース担当だった代田康弘現支部長（仲間の広場、茅ヶ崎）

### 終活・葬儀・お墓

もくもくのお勉強 22人も参加。お話は民主葬祭連合から。葬儀の費用、エンディングノートは漠然でも書き始める。組合の共同墓所に関心。(年金こうほく)

### あんなことこんなこと

#### 支部機関紙から

### 自宅前の看板

藤崎さんは自宅の前に「アベ政治を許さない」という看板を立てて、意思表示をしています。出来ることを始めましょう。(やまとあやせ)

### 天引きされる 介護保険学

知らないこととおおかつた。使い方学べた。

### 身を乗り出して聞く皆さん

保険使わないで元気にいたい。先生は「青空」代表で組合員の山口ひとみさんでした。(年金かねさわ)